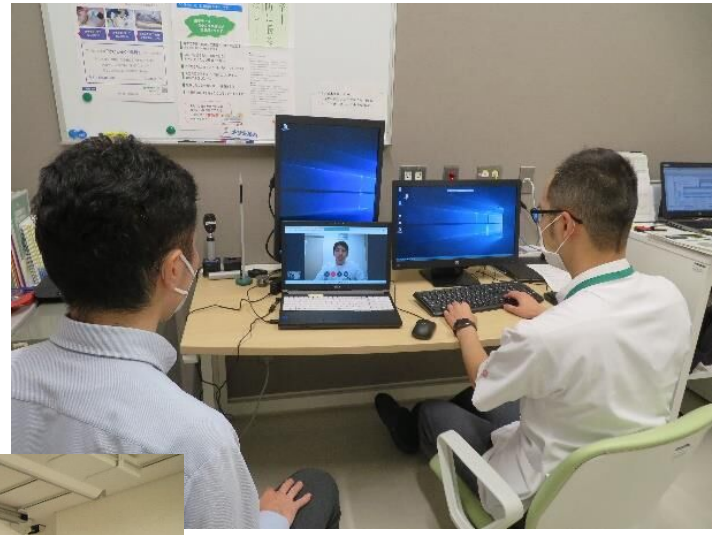
令和４年度　高松市病院事業会計決算の概要



病院局

高松市立みんなの病院
Takamatsu Municipal Hospital

１．令和４年度決算のポイント

（１）前年度比較

決　算	令和 ４ 年度　A	令和 ３ 年度　B	前年度比較　A - B	
			増　減	増減比率
決　算　規　模 （税込）	112.5 億円	105.0 億円	7.5 億円	7.1 %
みんなの病院	106.0億円	98.0 億円	8.0 億円	8.1 %
塩　江　分　院	6.5億円	7.0 億円	▲ 0.5 億円	▲ 7.3 %
経　常　収　支 （税抜）	5.7 億円	7.7 億円	▲ 2.1 億円	▲ 26.5 %
みんなの病院	5.9 億円	7.2 億円	▲ 1.3 億円	▲ 18.2 %
塩　江　分　院	▲ 0.2 億円	0.5 億円	▲ 0.7 億円	▲ 141.0 %

※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率等が一致しない場合がある。

（２）決算のポイント

■**決算規模**（収益的支出及び資本的支出の合計）は、医療器械等の購入費や企業債償還金が増加したことなどから、**７．５億円の増**

■みんなの病院の**経常収支**は、医業収益の減少や退職給付費の増加が影響し、３年度に比べ**１．３億円減少**したものの、新型コロナウイルス感染症に係る補助金の受入れなどにより、**５．９億円の黒字**

■みんなの病院の**入院･外来収益**は、診療単価が上昇した一方、入院･外来患者数はともに減少したことから、**０．５億円減**の、**６８．８億円**（▲０．７%）

■**一般会計繰入金２０．７億円**（＋９．２%）は、建設改良に要する経費の増や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の受入れなどに伴い**１．７億円の増加**

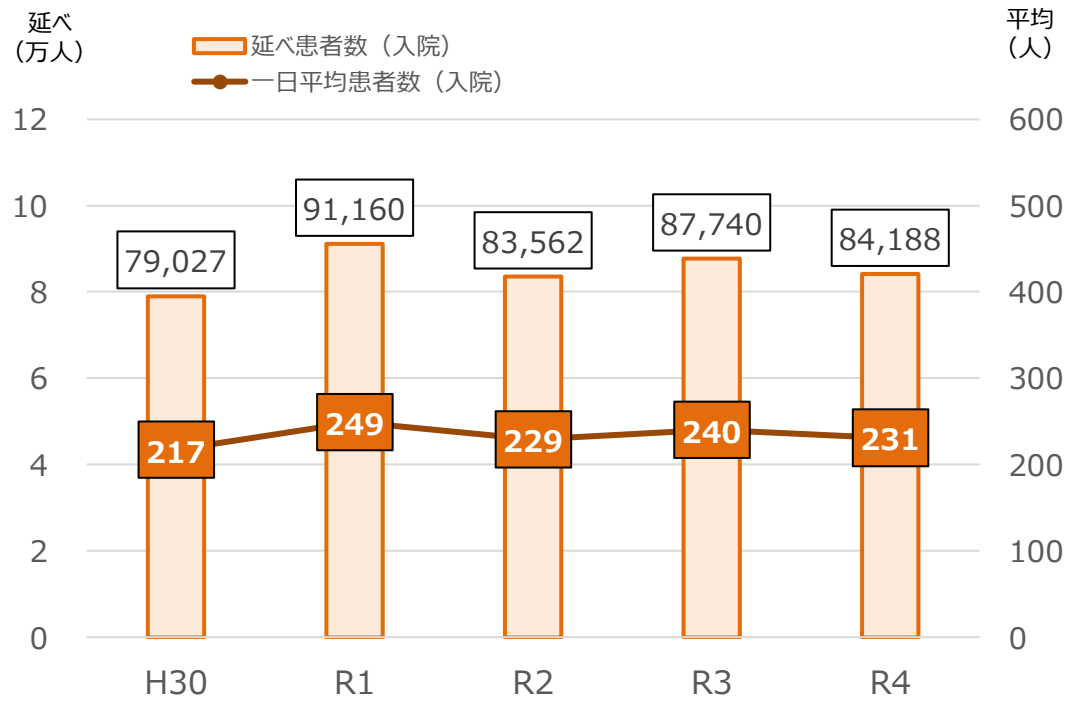
■**現金残高**は、３年度比**１７．１億円増**の**４１．９億円**

２．業務の状況①（患者数）

（１）みんなの病院

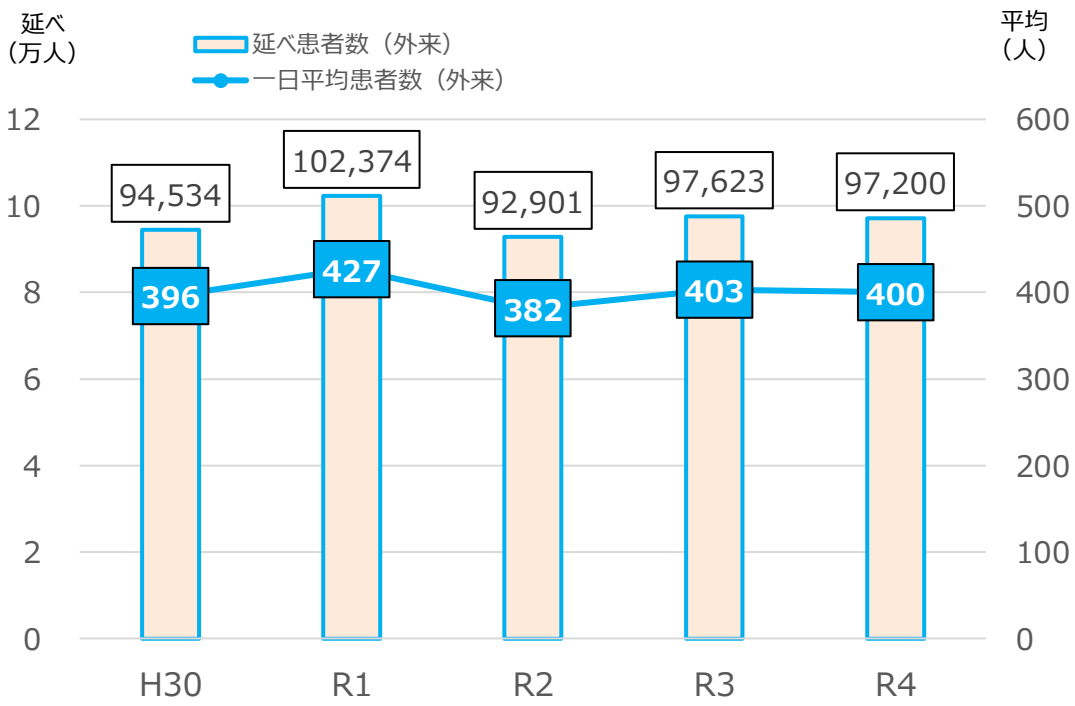
みんなの病院

入　院



入院患者数は、３年度に引き続き、病棟の一部を新型コロナウイルス感染症専用病床としたことや、感染症の拡大に伴う入院制限などにより、３年度に比べ、４．０％減少した。
（対Ｒ１比：▲７．６％）

外　来



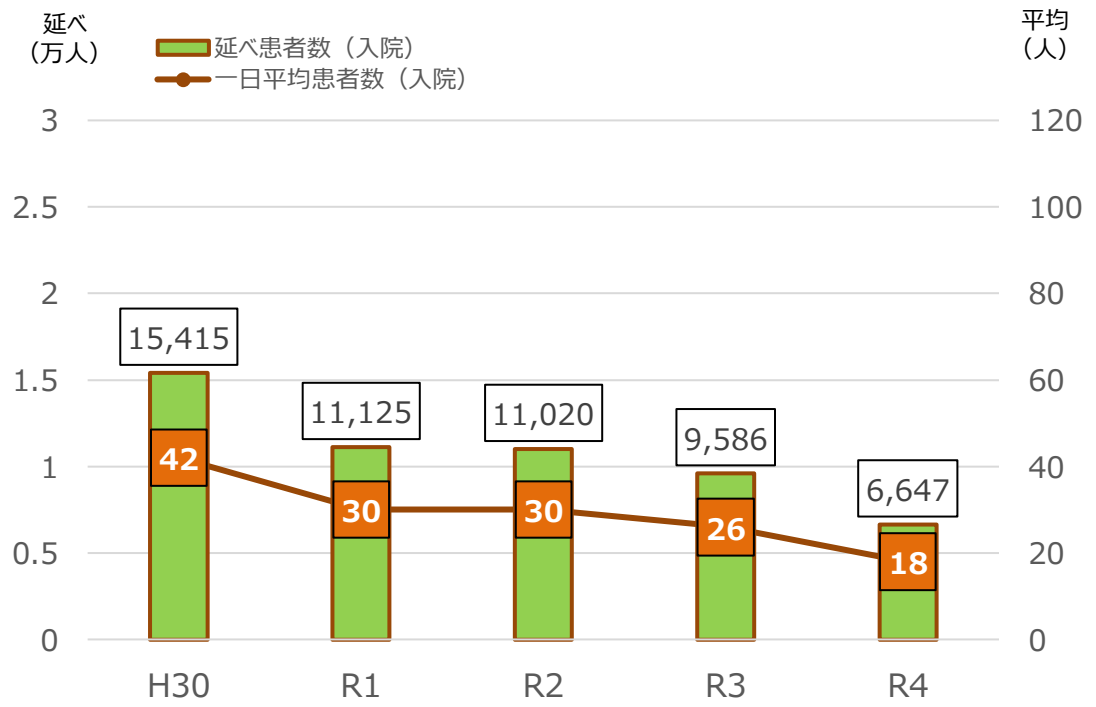
外来患者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う受診控えなどの影響により、３年度から０．４％減少となった。
（対Ｒ１比：▲５．１％）

２．業務の状況①（患者数）

（２）塩江分院

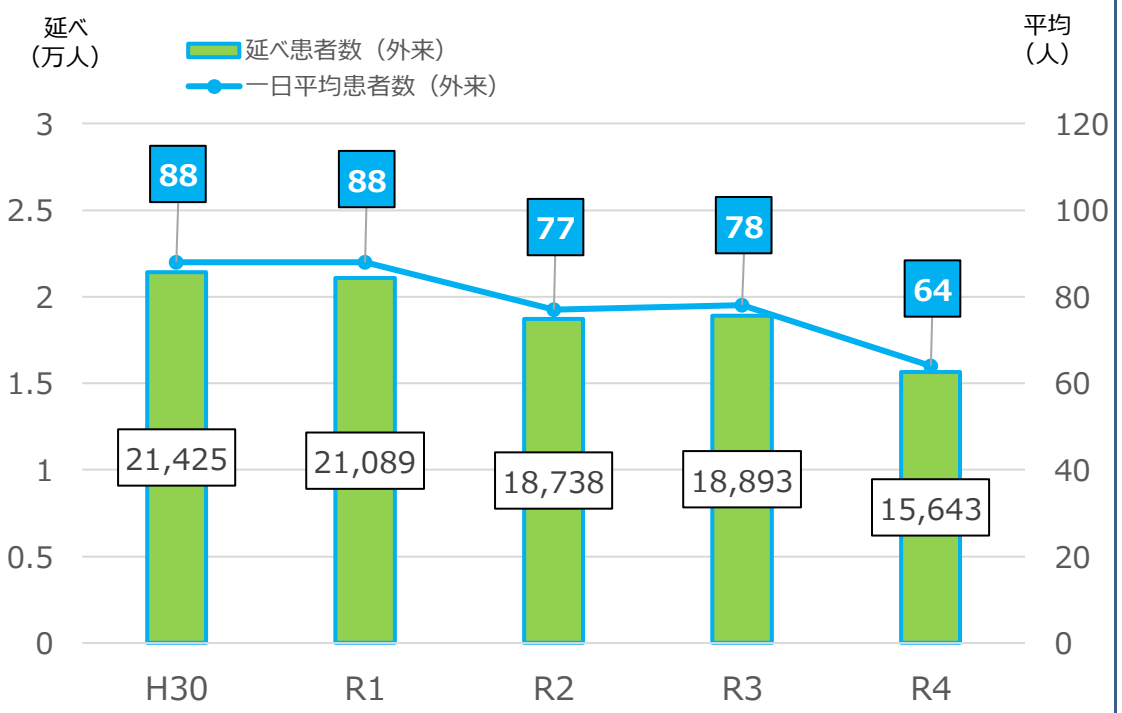
塩江分院

入　院



国の医療制度改革により、５年度末に介護療養病床を廃止することを見据え、入院の調整を行ったことなどから３年度に比べ３０.７%減少した。（対Ｒ１比：▲４０.３%）

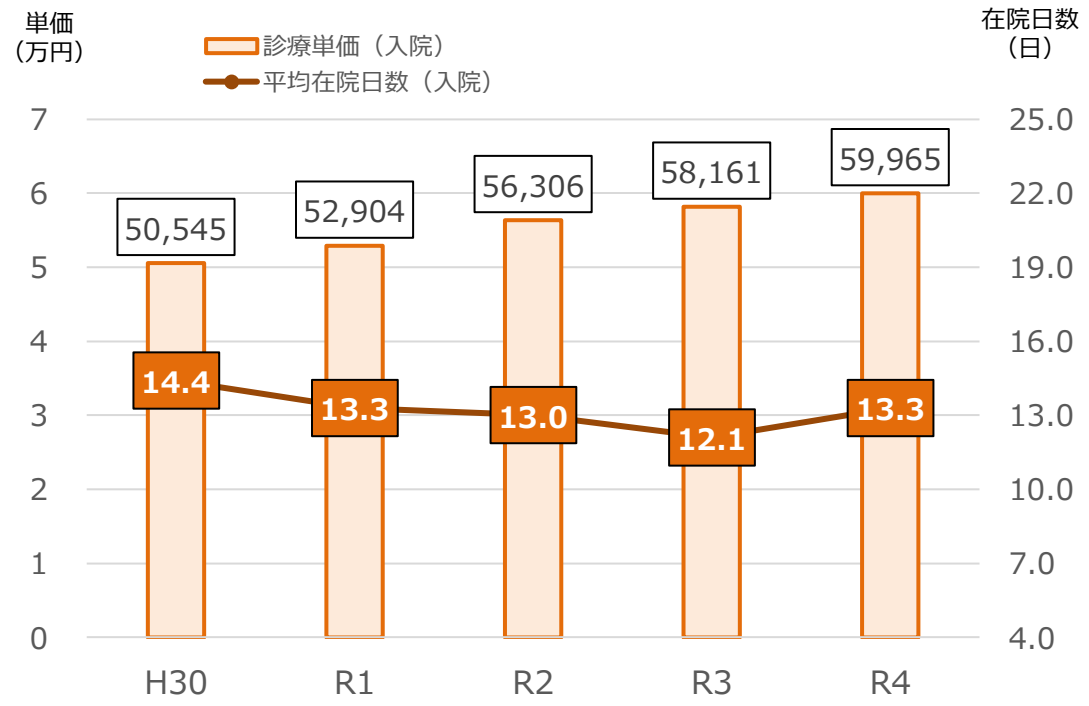
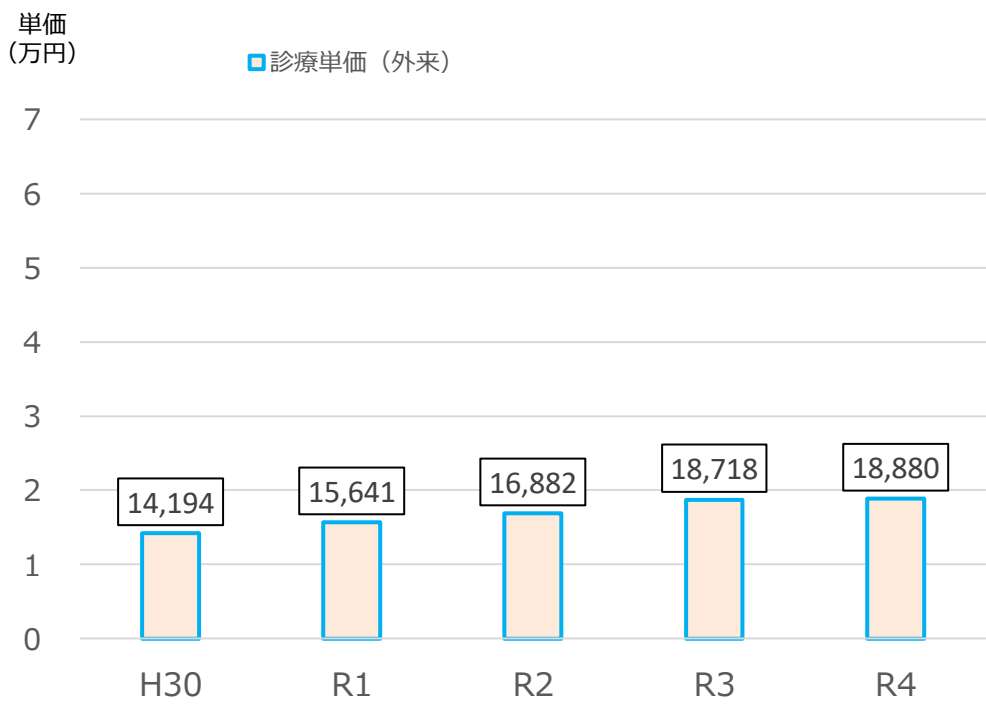
外　来



当院及び近隣の介護老人保健施設で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、一定期間の外来受診制限を行ったこともあり、３年度から１７.２%減少した。
（対Ｒ１比：▲２５.８%）

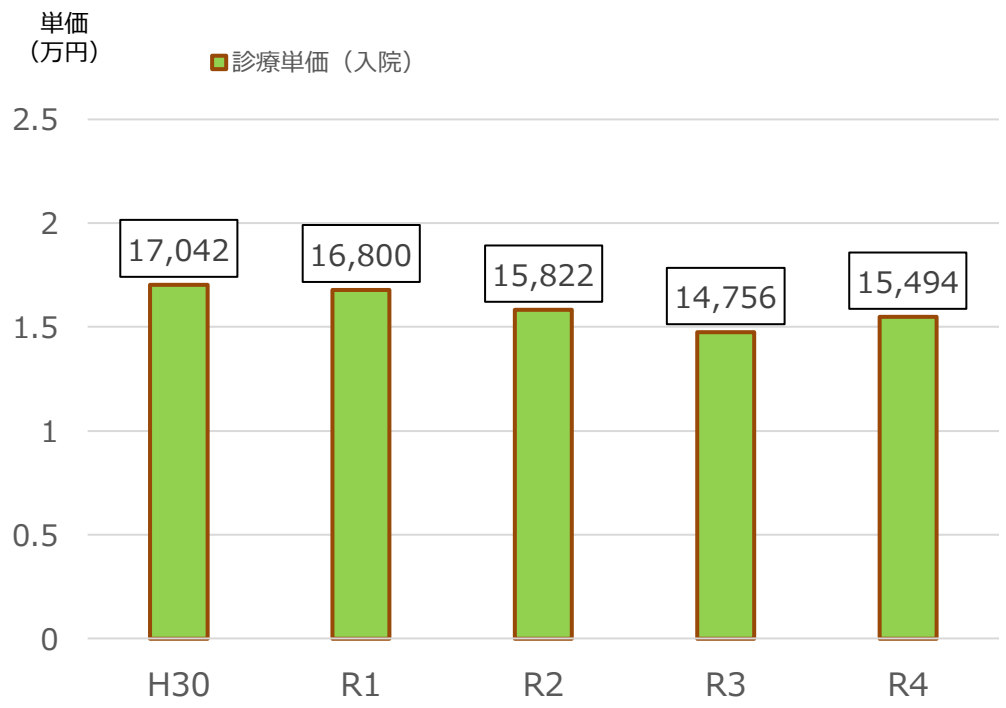
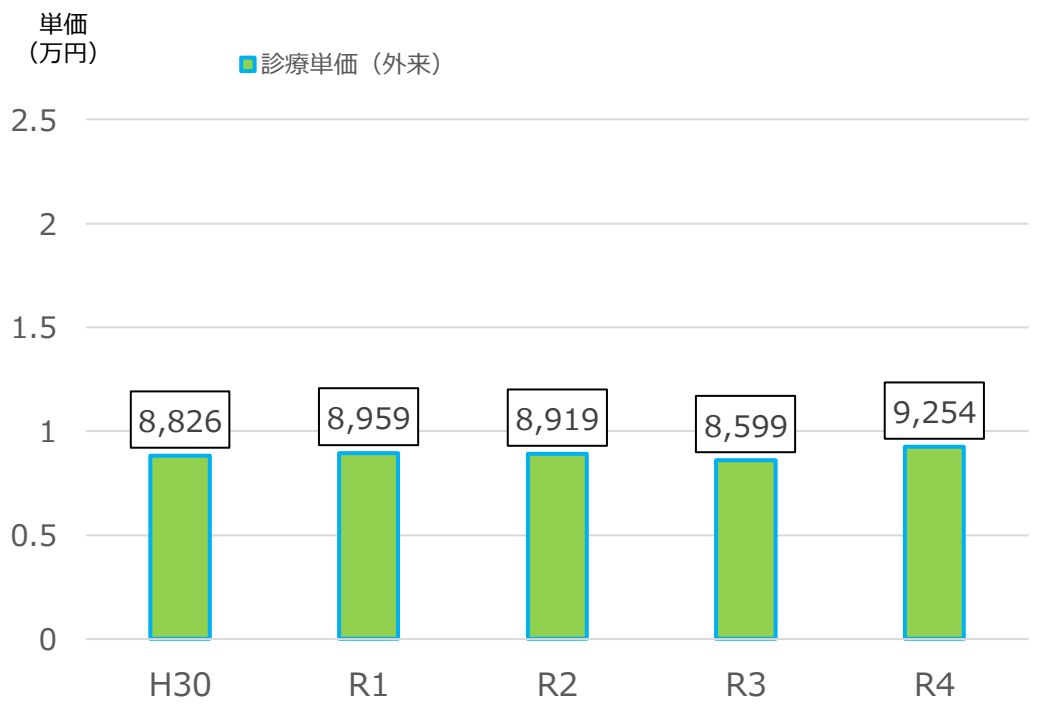
２．業務の状況②（診療単価）

（１）みんなの病院

	入　院	外　来
みんなの病院		
	３年度に引き続き効率的な病床管理の徹底や、がん・救急医療に注力したことに加え、新型コロナウイルス感染症の患者を多く受け入れたことに伴い、入院単価が３．１％上昇した。	３年度と同様にがん治療など、高額薬品を使用する患者が多かったことから、外来単価が０．９％上昇した。

２．業務の状況②（診療単価）

（２）塩江分院

	入　院	外　来
塩江分院		
	介護療養病床の廃止を見据えた入院調整に伴い、単価の高い医療病床の入院患者数が相対的に増加したことから、３年度より５．０％上昇した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、定期受診の回数を減らしたことにより、一回に処方する薬剤の量が多くなったことから、外来単価が７．６％上昇した。

３．収益的収入及び支出（税抜き）

（１）みんなの病院

単位：百万円

区　分	R4	R3	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収益（みんなの病院）	9,862	9,770	92	0.9	
医業収益	7,796	7,815	▲ 19	▲ 0.2	
うち入院収益	5,048	5,103	▲ 55	▲ 1.1	患者数 87,740人 → 84,188人　診療単価 58,161円 → 59,965円
うち外来収益	1,835	1,827	8	0.4	患者数 97,623人 → 97,200人　診療単価 18,718円 → 18,880円
うち一般会計繰入金	586	572	14	2.4	救急医療の確保に要する経費 ＋ 13,915千円
医業外収益	2,037	1,881	156	8.3	新型コロナ臨交金 ＋ 56,156千円
うち一般会計繰入金	756	624	133	21.3	高度医療 ＋ 49,770千円、退職給与の負担に要する経費 ＋ 40,172千円
特別利益	30	75	▲ 45	▲ 60.3	長期前受金戻入（過年度分） ▲ 36,850千円
費用（みんなの病院）	9,307	9,047	261	2.9	
医業費用	8,808	8,547	261	3.1	
うち給与費	4,663	4,501	161	3.6	退職給付費 ＋ 104,434千円、手当 ＋ 15,699千円
うち材料費	1,659	1,675	▲ 16	▲ 1.0	診療材料費 ▲ 57,240千円、薬品費 ＋ 43,090千円
うち経費	1,358	1,277	81	6.3	光熱水費 ＋ 46,604千円、修繕料 ＋ 16,394千円、委託料 ＋ 10,389千円
医業外費用	434	426	8	1.8	雑損失 ＋ 6,813千円
特別損失	65	73	▲ 8	▲ 10.8	過年度損益修正損 ▲ 11,497千円
当年度純利益	555	724	▲ 169	▲ 23.3	
経常損益（特利･特損を除く）	**591**	**722**	**▲ 131**	**▲ 18.2**	

３．収益的収入及び支出（税抜き）

（２）塩江分院

単位：百万円

区　分	R4	R3	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収益（塩江分院）	594	701	▲ 107	▲ 15.3	
医業収益	256	315	▲ 59	▲ 18.7	
うち入院収益	103	141	▲ 38	▲ 27.2	患者数　9,586人 → 6,647人　診療単価 14,756円 → 15,494円
うち外来収益	145	162	▲ 18	▲ 10.9	患者数 18,893人 → 15,643人　診療単価　8,599円 →　9,254円
医業外収益	319	370	▲ 51	▲ 13.8	
うち一般会計繰入金	312	360	▲ 48	▲ 13.4	不採算病院運営経費 ▲ 33,054千円
附帯事業収益	17	15	2	16.7	訪問看護利用者の増 1,714人 → 1,935人（＋ 221人）
特別利益	2	1	1	34.1	
費用（塩江分院）	614	648	▲ 34	▲ 5.3	
医業費用	578	610	▲ 33	▲ 5.4	
うち給与費	397	425	▲ 28	▲ 6.6	給料 ▲ 10,905千円、手当 ▲ 6,908千円、退職給付費 ▲ 6,832千円
うち材料費	72	81	▲ 9	▲ 11.6	薬品費 ▲ 5,680千円
うち経費	96	92	4	4.6	報償費 ＋ 2,020千円
医業外費用	15	16	▲ 1	▲ 6.2	雑損失 ▲ 790千円
附帯事業費用	21	21	0	▲ 0.4	
特別損失	1	1	0.4	▲ 44.0	
当年度純利益	▲ 20	53	▲ 73	▲ 138.6	
経常損益（特利･特損を除く）	**▲ 21**	**52**	**▲74**	**▲ 141.0**	

４．資本的収入及び支出（税込み）

（１）みんなの病院

単位：百万円

区　分	R４	R３	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収入（みんなの病院）	941	537	404	75.3	
企業債	533	166	368	222.0	医療備品購入費の増加（医療情報システム、血管造影X線診断装置など）
負担金交付金	405	319	85	26.6	企業債償還に対する一般会計負担金の増加 ＋ 85,102千円
補助金	4	52	▲ 48	▲ 93.2	県補助金の減少 ▲ 48,331千円
支出（みんなの病院）	1,269	731	538	73.6	
建設改良費	540	222	318	143.6	
資産購入費	530	148	382	257.2	医療備品購入費の増加 ＋ 381,720千円（医療情報システム269,280千円、血管造影Ｘ線診断装置145,200千円など）
繰越資産購入費	0	73	▲ 73	皆減	手術支援ロボット関連機器の購入分の減少 ▲ 73,414千円
病院施設費	10	0	10	皆増	自動ドア改修、電話応答転送装置導入
企業債償還金	631	469	162	34.5	R2年度借入分（R3繰越分含む、手術支援ロボット関連装置）の企業債償還開始に伴う増 ＋ 139,446千円
他会計借入金償還金	98	39	59	150.0	H29年度借入分の償還開始に伴う増 ＋ 58,500千円
その他	0	1	▲ 1	皆減	助産師就学資金貸付金 ▲ 1,100千円
収支差引（補塡額）	▲ 327	▲ 194	▲ 133	68.8	

４．資本的収入及び支出（税込み）

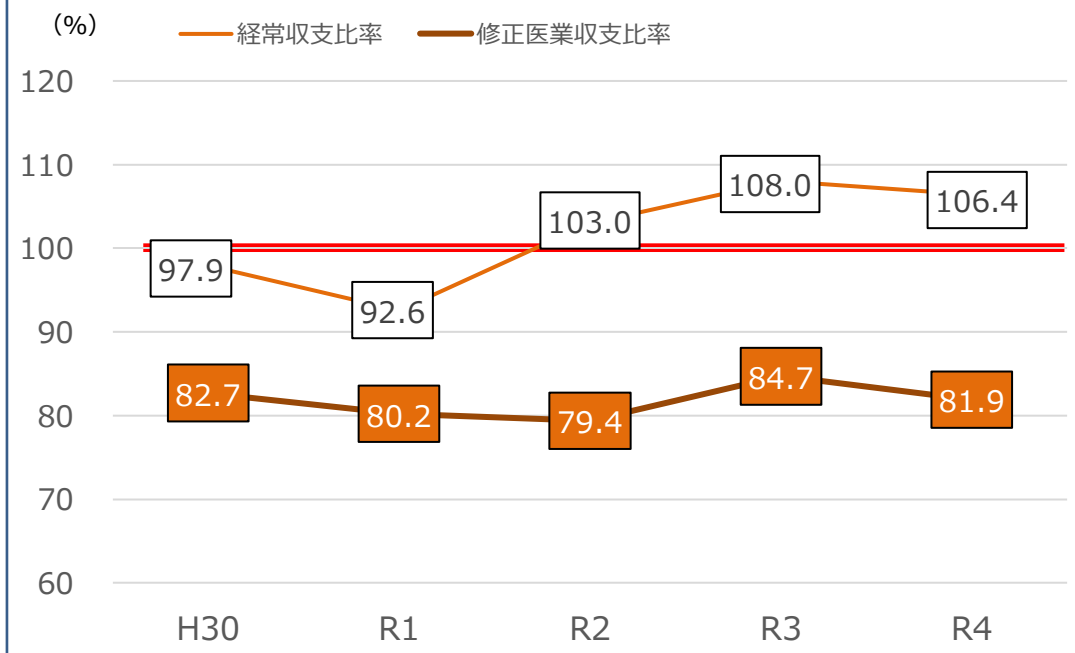
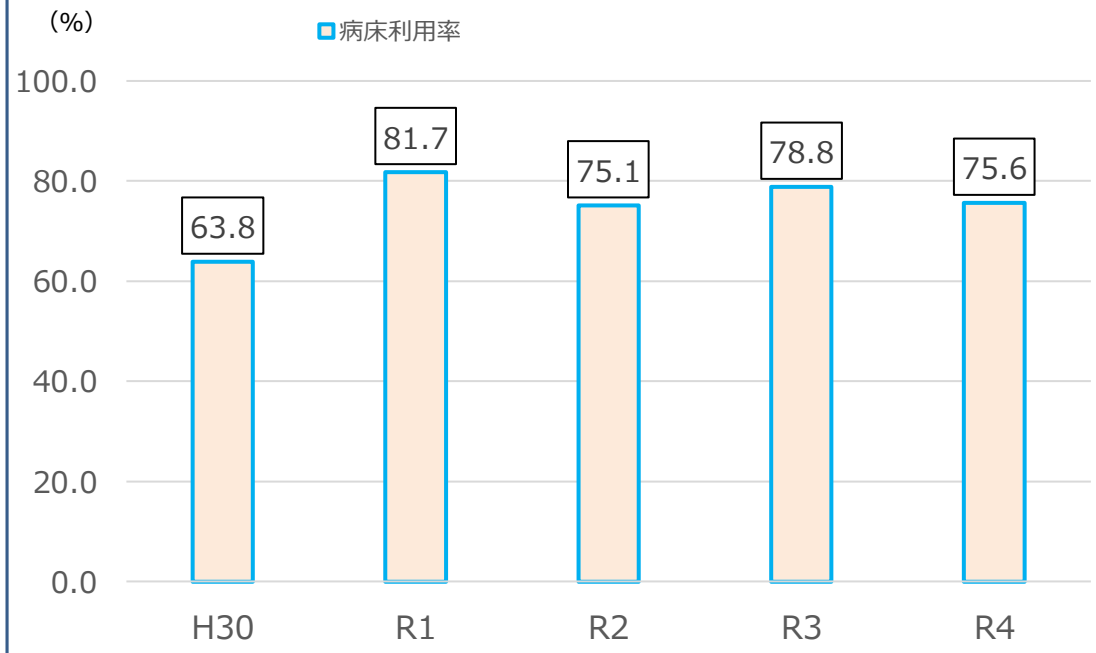
（２）塩江分院

単位：百万円

区　分	R４	R３	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収入（塩江分院）	30	35	▲ 6	▲ 16.3	
企業債	15	10	5	52.0	資産購入費分（歯科用チェア）　＋ 3,700千円
うち附属医療施設分	11	7	4	64.7	附属医療施設整備費の増加に伴う増　＋ 3,900千円
出資金	12	10	2	16.5	
うち附属医療施設分	12	8	5	71.1	附属医療施設整備の実施設計･造成に伴う増　＋ 11,968千円
負担金交付金	3	15	▲ 13	▲ 81.8	一般会計負担金の減　▲ 10,483千円
支出（塩江分院）	33	50	▲ 17	▲ 33.4	
建設改良費	27	44	▲ 17	▲ 38.5	
資産購入費	4	7	▲ 4	▲ 48.6	歯科用チェア 3,700千円
附属医療施設	23	30	▲ 7	▲ 23.0	道の駅エリア建築実施設計等負担金 23,239千円
繰越附属医療施設	0	6	▲ 6	皆減	
企業債償還金	6	6	0	3.1	
収支差引（補塡額）	▲ 3	▲ 15	11	▲ 75.0	

５．経営指標の推移

（１）みんなの病院

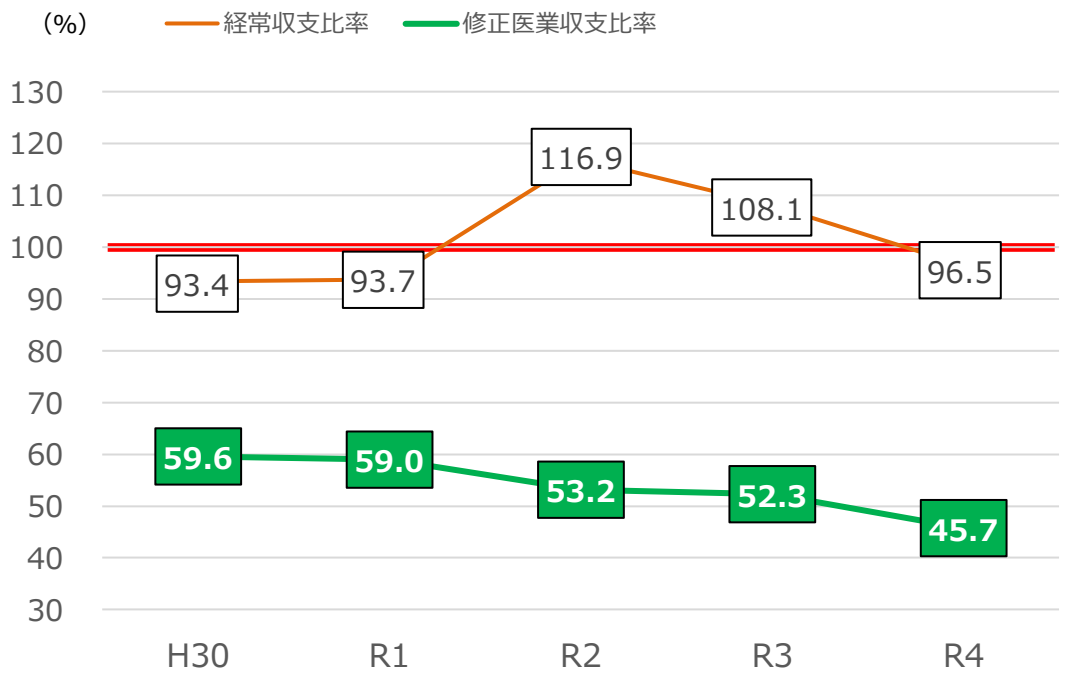
	経常収支比率　修正医業収支比率	病床利用率
みんなの病院		
	経常収支比率は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、３年度に比べ医業収益は減少したものの、感染症対応に係る補助金を受け入れたことで１００％を上回った。修正医業収支比率は前年度を２．８ポイント下回った。	新型コロナウイルス感染症に対応するため、病棟の一部をコロナ専用病床としていることに加え、感染症の拡大に伴い、入院の受入れを制限したことなどより、３年度に比べ、３．２ポイント低下した。

■経常収支比率とは　経営の健全性を示す指標。比率が高いほど健全であり、100%を超えると健全経営であることを意味します。
■修正医業収支比率とは　経営の収益性を示す指標。他会計繰入金などを除いて算定しており、比率が高いほど収益性が高く、100%を超えると独立採算であることを意味します。

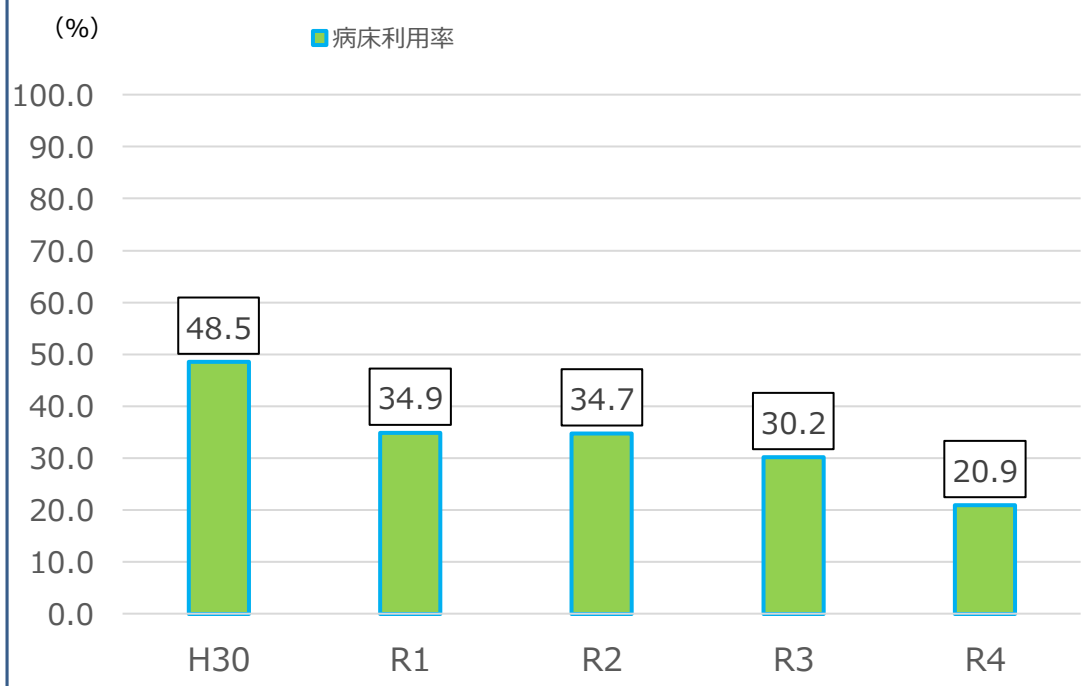
５．経営指標の推移

（２）塩江分院

経常収支比率　　修正医業収支比率



病床利用率



塩江分院

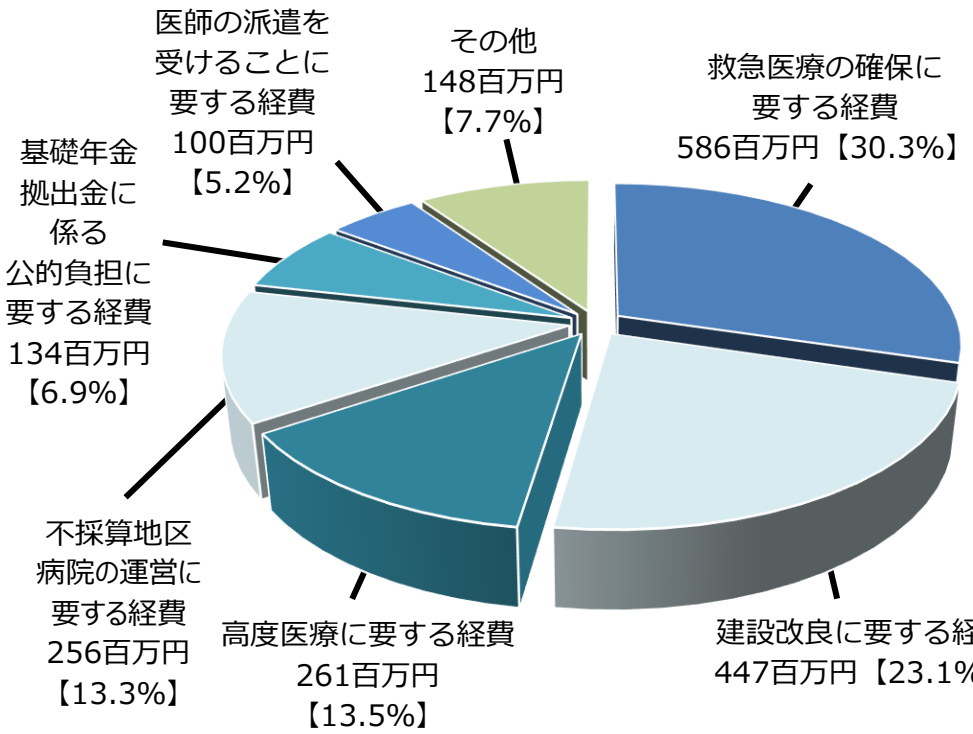
介護療養病床の廃止を見据え、入院調整を行ったことや、新型コロナウイルス感染症の院内クラスター発生に伴い、外来受診制限を行ったことなどにより、医業収益が減少したことから、経常収支比率・修正医業収支比率が共に低下した。

介護療養病床の廃止を見据え、入院調整を行ったことなどに伴い、病床使用率は前年度に比べ９．３ポイント低下した。

６．一般会計から病院事業会計への繰入金

単位:百万円

決算	Ｒ４年度	Ｒ３年度	増減	Ｒ５予算	備　　考
負担金	2,061	1,888	173	2,308	救急医療、建設改良、退職給与などに要する経費
出資金	12	10	2	0	附属医療施設整備事業などに要する経費
合　　計	**2,073**	**1,898**	**175**	**2,308**	
繰出基準内	1,932	1,846	86	2,181	総務省通知
繰出基準外	141	52	89	127	地方交付税等措置対象外



基準内 繰入の内訳

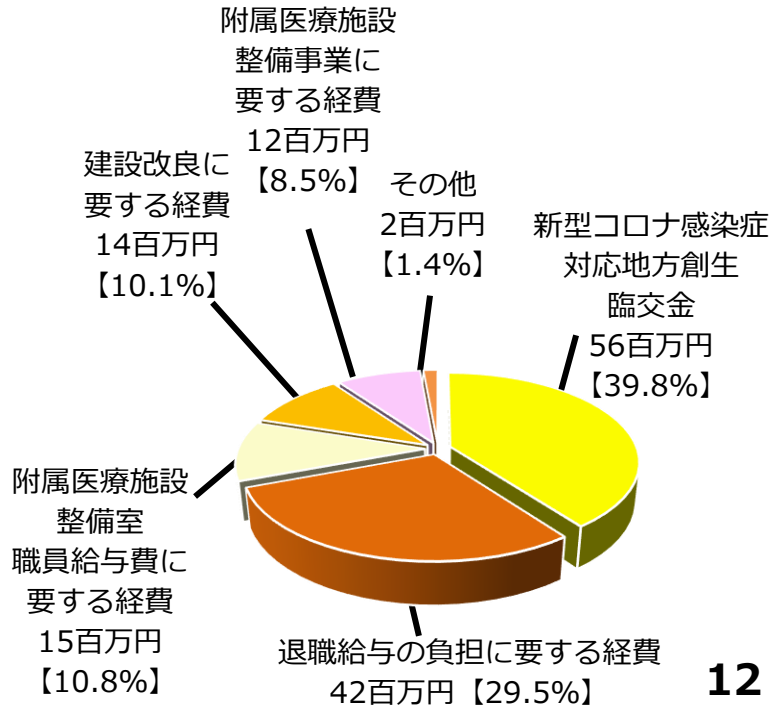
1,932百万円【93.2%】

（R3【97.2%】）

基準外 繰入の内訳

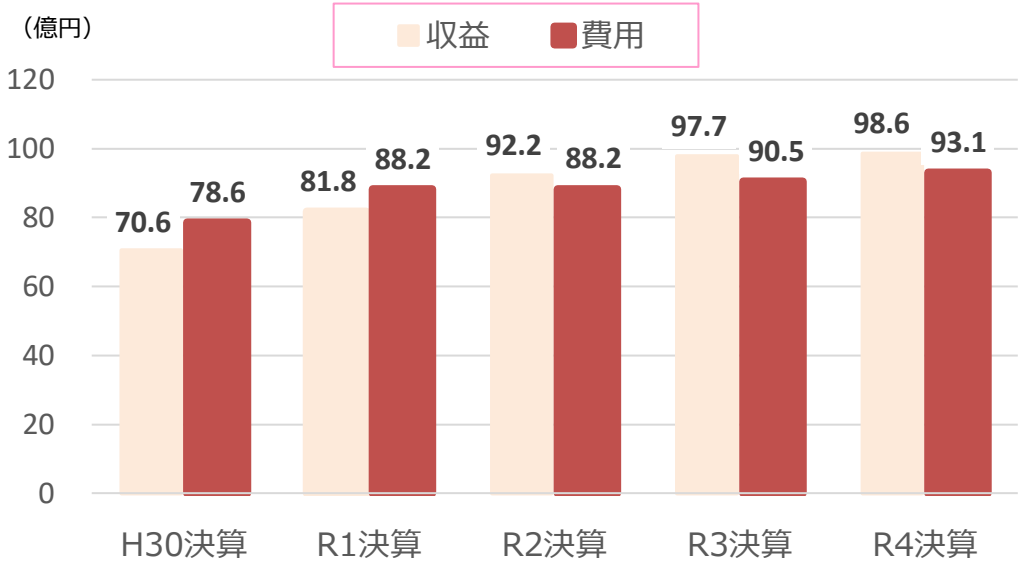
141百万円【6.8%】

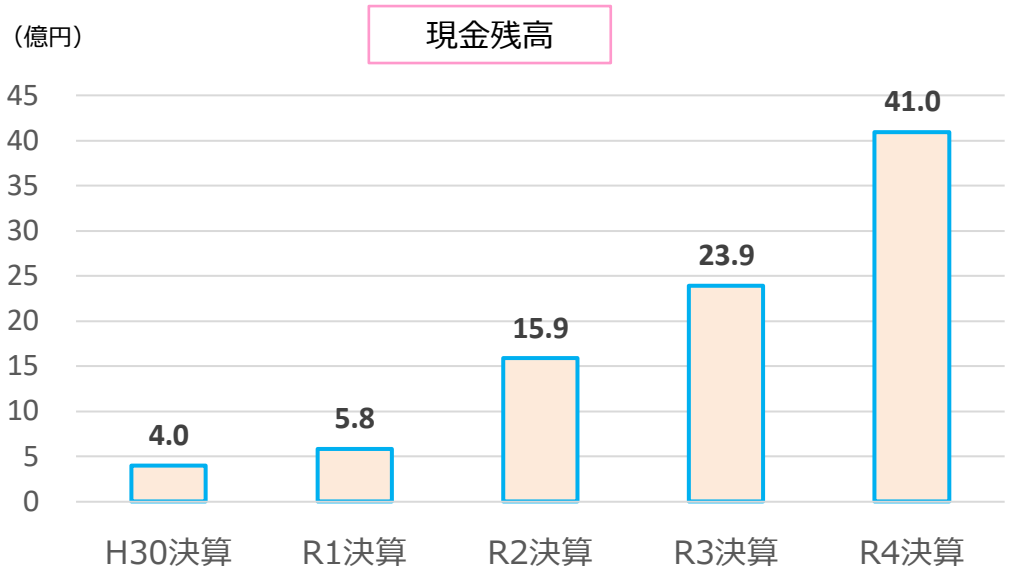
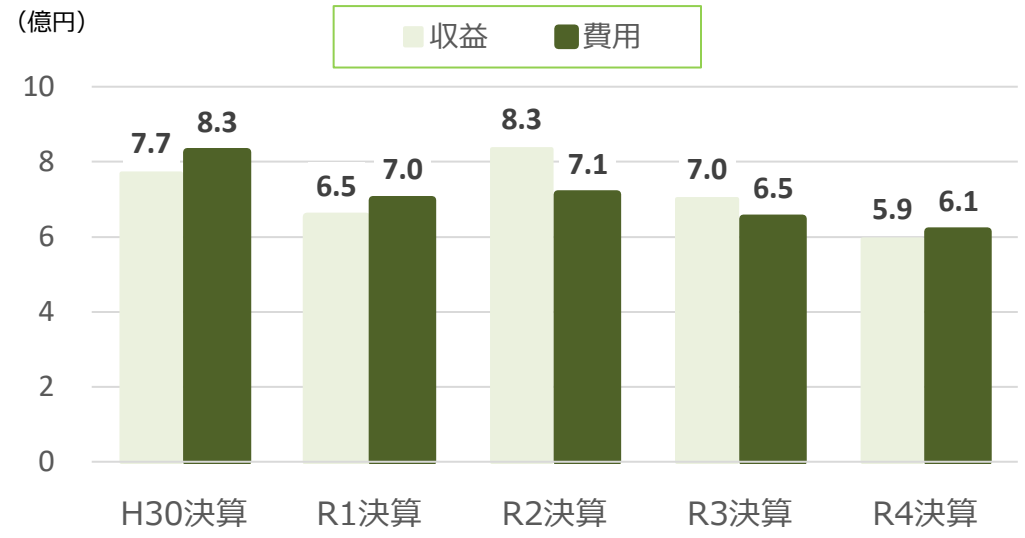
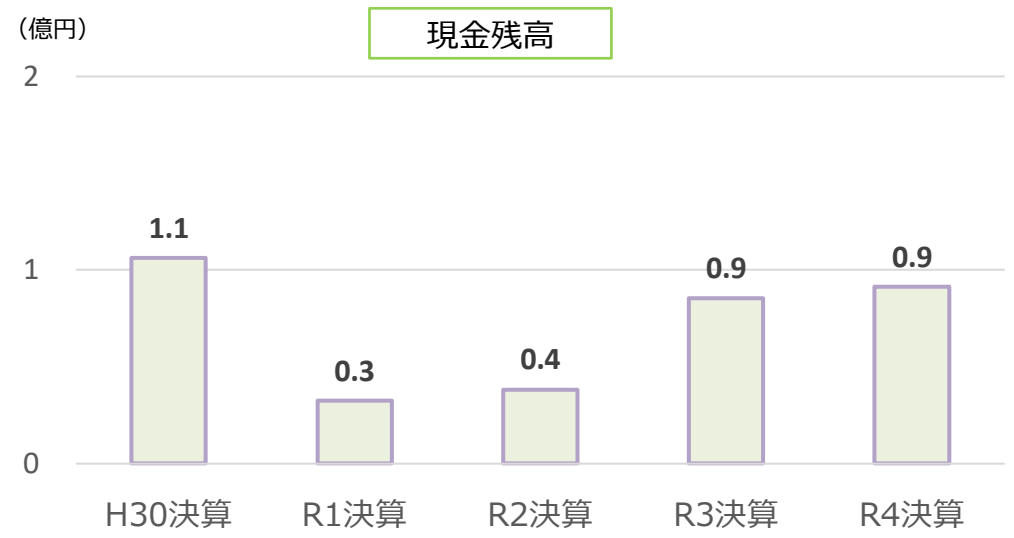
（R3【2.8%】）



7．病院事業収益・費用及び現金残高の推移

みんなの病院





塩江分院